

外部環境・背景等

- 持続可能な発展～人口・環境問題への対応
- グローバル化の加速
- 成長するアジアと観光客・留学生の増加
- 都市間競争の激化
- 在住外国人の増加
- 東日本大震災の発生

札幌市の現状

- 外国人登録者数は約 9,500 人。総人口に対する外国人割合は 0.5%と政令指定都市の中で最も低い。
- 国際的な文化・スポーツイベントを実施しているが、オリンピック開催時の知名度からは後退。
- 多文化共生に向けた経験の不足、観光面での受入環境の脆弱さ、経済面での海外展開の不足が課題。

札幌市のなりたちと強み

- 外国人技師の助力を得て整備された新しいまち
- 他者に寛容なおおらかな気質と自由な雰囲気
- 美味しい空気、水、食べ物などの自然に恵まれた生活環境と快適な都市機能

「札幌市国際化推進プラン」の実績と課題

- 姉妹都市交流や冬の都市市長会等を通じてネットワークを構築し、世界の都市と活発に交流。
- 積雪寒冷など札幌の技術を世界に伝え、国際協力に貢献。
- 課題として、経済分野での国際化、外国人のまちづくりへの参加の機会の確保、などがある。

都市像・長期総合計画の見直し：「まちづくり戦略ビジョン」策定

◆理念（検討中）

生活上の価値観の変化、社会貢献、持続可能性・・・

◆国際戦略の基本方針

キーワード

持続可能性

グローバル化への対応

世界貢献

創造性

多様性

札幌らしさ

市民が主役

基本方針Ⅰ：札幌を拠点とする交流を拡大し、都市の活力を維持・向上する。
～札幌の魅力を発信し、海外から人・物・資金・情報を取り込む

基本方針Ⅱ：市民一人ひとりが創造性を発揮していきいきと暮らす地域づくりを進める。
～異文化を尊重し、多様性を認め合う多文化共生都市を目指す。

基本方針Ⅲ：世界と札幌をつなぐ国際協力を推進する。
～札幌のプレゼンスを高める国際協力の推進を図る。

◆施策の柱

Ⅰ札幌のブランド化と積極的な情報発信

ライフスタイルなどの効果的かつ集中的なシティプロモーションにより、札幌のブランド化を目指す。

Ⅰ札幌の魅力資源の活用による国際観光・経済の活性化

既存の魅力資源の向上とグローバル化に対応した札幌経済の国際化による経済振興

Ⅰ国際都市にふさわしい創造的な都市空間づくり

創造的な活動を可能にする都市空間づくりや環境に配慮した取組みを推進することで、グローバル化に対応した基盤を整備する。

Ⅱ多文化共生都市を目指したまちづくり

札幌の歴史・文化にふさわしい多様性を認め合う社会を実現する。

Ⅲグローバル時代の札幌を支える国際感覚豊かな人材の育成と活用

世界を知り、グローバルな視点で考え、行動する「国際都市さっぽろ」を支える市民性を育み、市民活動の支援を行う。

Ⅳ札幌の技術を活用した国際協力

積雪寒冷地にある大都市札幌の特徴やユニークな海外ネットワークを活かした市民が誇りに思う国際協力を展開する。

重点戦略化

◆重点戦略分野～今後 10 年間で集中的に実施する重点戦略分野

★札幌ライフを基礎とした
集客交流

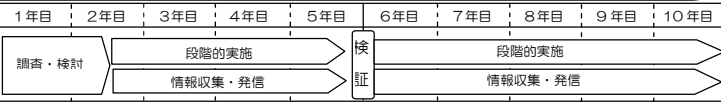
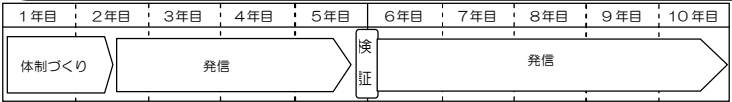
札幌ライフ：四季折々の自然や美味しい空気・水、新鮮な食と、芸術・文化・スポーツなど都市ならではの活動を同時に楽しめる札幌の暮らし。

“札幌ライフ”の発信

国内では魅力度ランキングで1位、市民の97%が「好き」と答える札幌の魅力を高め、それらを「札幌ライフ」として総合的に情報発信する。

長期滞在につながる交流促進

海外からの観光客に対して、札幌市民の暮らしを共有できる奥行きのある交流を進めてリピーターを増やし、さらには一過性の観光に留まらない二地域居住などの長期滞在の推進に繋げる。



◆戦略展開の考え方～戦略を実施していく上での視点

海外ネットワークを活用した情報収集・発信と新たな海外拠点の拡充

- ・姉妹・友好都市、世界冬の都市市長会などの既存の都市ネットワークを活用した効果的な施策展開や新たなネットワークの開拓
- ・海外派遣職員等を通じた情報収集・発信
- ・JETRO や CLAIR（自治体国際化協会）などと連携した海外拠点活用による施策展開

ターゲット地域の明確化

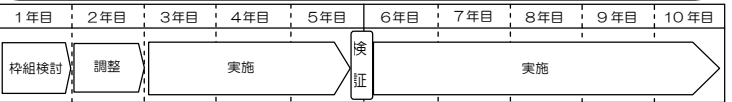
- ・観光や経済活動の市場～東・東南アジアやインドなど成長著しいアジア地域の活力を取り込む。
- ・環境、市民参加、都市計画などまちづくり分野～欧米地域の先進的取り組みに学ぶ。
- ・札幌市の特性を活かした情報発信・経済連携～積雪寒冷地など気候風土が類似する地域とのユニークな交流

横断的な連携強化

- ・国際分野で活躍する市民や NPO 等市民団体の活動を円滑にし、協力関係を深化させる。
- ・大学や企業などと緊密に情報共有し、産学官による効果的な政策形成と実施を図る。
- ・北海道や隣接自治体をはじめとする他自治体との連携により、北海道全体の資源を活かした戦略活用を進める。
- ・JICA、JETRO などの国際協力機関や国際機関との連携による情報収集・発信を拡大する。

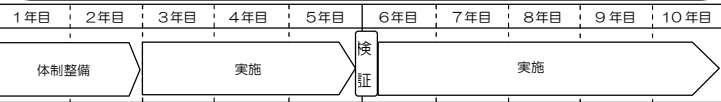
★次世代を担う国際人材育成

次世代を担う子どもたちが、多様な文化とふれあい、日常生活の中で国際意識を醸成するため、国際交流の機会の充実を図り、札幌の魅力を発信できる人材や、将来の札幌のさまざまな分野で活躍できる人材の育成を目指す。



★外国人のための安全・安心なまちづくり

札幌で生活する多くの外国人市民や、観光等で札幌を訪れた外国人が安心して活動できるよう、多言語による情報提供や相談窓口の充実、災害時における支援体制の充実など、支援の基盤整備を進める。



◆進捗管理

- ・目標となる評価指標を設定し、戦略自体を分かりやすくするとともに、進捗管理と評価をしやすくする。
- ・社会情勢の変化に応じた柔軟な見直しと進捗管理、検証を行うため、具体的な施策をまとめた実行計画であるアクションプランを策定する。

◆推進体制

- 1 札幌市の推進体制
 - ・国際化推進連絡協議会
 - ・国際戦略会議
 - ・職員研修の充実
- 2 札幌国際プラザのコーディネート機能の強化
 - ・多文化共生と人材育成の推進
 - ・市民・市民団体との連携強化
 - ・ボランティア活動の支援
 - ・札幌圏大学フォーラム 等